

委託事業実施内容報告書

平成24年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【地域日本語教育実践プログラム(A)】

受託団体名 小松市国際交流協会

1. 事業名称

小松市地域日本語教育推進事業

2. 事業の目的

平成24年4月現在小松市に在住する外国人1557名のうち約60%が日系ブラジル人とその家族であり、アジア圏からの実習生・研修生を含めると約80%が就労目的の外国人である。景気低迷が続く中、小松市も含め石川県内でも外人登録者数は2009年から3年連続減少しているものの、永住者は増えている傾向にある。定住・永住外国人においては安定した生活のため、日本語習得の重要性を認識し、就労の安定、地域交流、社会貢献を求めるようになってきている。よって当協会の日本語教室においても過酷な就労生活のなかで学習する外国人のために生活に密着した、より実践的な教室設置・運営が必要であり、その為の既存講師のスキルアップ、また新規の日本語講師及び日本語サポーターの養成が急務である。

3. 事業内容の概要

- ①「生活者としての外国人」が日本語を用いて社会生活に参加できるようコミュニケーション能力向上のための実践的な日本語教室の設置・運営。
- ②既存のボランティア日本語講師が大きな教室活動にも対応できるようグループレッスン運営のためのスキルアップ講座、新規のボランティア日本語講師・日本語サポーター養成講座の開催。
- ③実践的でニーズに合った日本語教室運営のための教材作成。

4. 運営委員会の開催について

【概要】

回数	開催日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成24年7月10日 16:30～18:00	1.5時間	こまつまちづくり 交流センター	今井 武 志村 恵 北川 雅恵 クラシ 徳子 村上 洋子 綾 美寿恵 本田 昌代	・開会 ・運営委員紹介 ・事業内容確認 ・文化庁からの留意事項について ・会社から連絡事項	業務計画・事業計画をもとに事業内容の再確認を行った。 また、当事業の選考結果通知内にあった留意事項点について検討し、地域(消防署、警察署、環境美化センターなど)との連携を図っていくことを決めた。会社からは謝金や交通費の支払のことについての連絡があった。
2	平成24年12月9日 14:00～16:00	2時間	こまつまちづくり 交流センター	今井 武 志村 恵 北川 雅恵 クラシ 徳子 村上 洋子 綾 美寿恵 本田 昌代	・中間報告 ・現状の課題 ・平成25年度同事業に向けて	1ターム終了毎にアンケートを実施しているが、アンケート結果と学習者が減ってきている現状が結びつかず、学習者が減る本当の原因を把握できない、という課題がある。「タームの間、アンケートを実施してはどうか」「自由記述してはどうか」「具体的な質問(例:今日のクラスで練習した漢字の数は多い少ないか、等)をし、学習者、このクラスの評価をしてもらってはどうか」などの意見が出、アンケートの実施時期や内容を改善し教室活動をより良いものにしていくことになった。
3	平成25年2月17日 14:00～16:00	2時間	こまつまちづくり 交流センター	今井 武 志村 恵 北川 雅恵 クラシ 徳子 村上 洋子 綾 美寿恵 本田 昌代	・最終報告 ・今年度の反省、課題	学習が継続できず辞めていく学習者の「続かない理由・問題」等について検討した。地域や季節、交通手段が異なるなどの問題点もあった。また、人材育成にサポート力のあるなどの課題もあった。引き続き取り組んでいきたい。

【写真】



5. 日本語教室の設置・運営

(1) —① 講座名称 **Aクラス(上級)**

(2) 目的・目標

「生活者としての外国人」が日本語を用いて社会参加できるようコミュニケーション能力の向上を図り、地域の人とつながり交流できるような日本語教室の設置・運営。

(3) 対象者

地域在住外国人

(4) 開催時間数(回数) 64 時間 (全 32 回)

(5) 使用した教材・リソース

「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案に基づき教案

教材を作成し、実施。

(6) 受講者の総数 33 人

(出身・国籍別内訳 ブラジル 8 名、中国 6 名、ベトナム 11 名、アメリカ 3 名、タイ 3 名、韓国 1 名、オーストラリア 1 名)

(7) 受講者の募集方法

・チラシを作成し実習生・研修生がいる企業、在住外国人が経営するレストランや教会等に配布。

・Facebook

・在住外国人による口コミ。

(8) 日本語教室の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍人数	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者数	講師又は指導者名
1	7月1日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	21	ベトナム(8)、タイ(3) ブラジル(4)、中国(5) アメリカ(1)	自己紹介	初対面の挨拶、自己PR、隣の人を紹介する等	1	村上洋子
2	7月8日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	21	ベトナム(8)、ブラジル(5) タイ(3)、中国(4) アメリカ(1)	地域の行事に参加する	地域のひととコミュニケーションをとる。自国のゲームを日本語で説明できるようにする	1	村上洋子
3	7月15日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	22	ベトナム(8)、ブラジル(6) タイ(3)、中国(5)	地域の行事に参加する	地域の行事に実際に参加する。一緒にゲームを楽しむ	1	村上洋子
4	7月22日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	20	ベトナム(8)、ブラジル(5) タイ(3)、中国(3) アメリカ(1)	乗物に乗っていろいろ	徒歩で移動する。道案内がわかる	1	村上洋子
5	7月29日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	20	ベトナム(7)、ブラジル(6) タイ(2)、中国(4) アメリカ(1)	乗物に乗っていろいろ	バス、電車で移動する。移動の方法がわかる	1	村上洋子
6	8月5日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	20	ベトナム(7)、ブラジル(4) タイ(3)、中国(5) アメリカ(1)	乗物に乗っていろいろ	旅行の計画を立て、行きかたや、費用も調べる	1	村上洋子
7	8月19日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	19	ベトナム(7)、ブラジル(6) タイ(2)、中国(4)	乗物に乗っていろいろ	前回立てた旅行の計画をプレゼンテーションする	1	村上洋子
8	8月26日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	22	ベトナム(10)、ブラジル(6) タイ(3)、中国(2) アメリカ(1)	薬の知識を覚えよう	薬局で、薬を買うときに困らないように、薬の名前や病気の症状の言い方を覚える	1	村上洋子
9	9月2日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	20	ベトナム(10)、ブラジル(6) タイ(3)、中国(1)	救急車をよびよる	事故があったとき、病気の時救急車が呼べるようにする	1	村上洋子
10	9月9日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	18	ベトナム(9)、ブラジル(6) アメリカ(1)、中国(1) オーストラリア(1)	救急車、消防車に乗ろう	消防署の見学、救急車の呼び方、救急隊のみなちとの会話の実体験	1	村上洋子
11	9月23日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	17	ベトナム(7)、ブラジル(5) アメリカ(1)、中国(1) オーストラリア(1)、タイ(2)	バーベキューをしよう	みんなでバーベキューをする計画を立てる	1	村上洋子
12	9月30日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	10	ベトナム(4)、ブラジル(3) タイ(2)、中国(1)	バーベキューをしよう	料理の指示に従って買いに行き、バーベキューをする	1	村上洋子
13	10月7日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	10	ブラジル(2)、中国(3) オーストラリア(1)、タイ(3) ベトナム(1)	バーベキューをしよう	バーベキューの振り返り	1	村上洋子

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者数	講師又は指導者名
14	10月14日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	11	ブラジル(1)、中国(3) オーストラリア(1)、ベトナム (4)、タイ(2)	運動会を企画運営しよう	小松市国際交流協会のイベントである「運動会」を企画する	1	村上洋子
15	10月21日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	12	ブラジル(2)、中国(3) オーストラリア(1) ベトナム(4)、タイ(2)	運動会を企画運営しよう	どのような競技をするか、その競技を日本語でどのように説明するか考える	1	村上洋子
16	10月28日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	13	ブラジル(2)、中国(3) オーストラリア(1) ベトナム(4)、タイ(3)	運動会を企画運営しよう	ラン体操から、表裏まで流れをリハーサルする	1	村上洋子
17	11月4日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	13	ブラジル(2)、中国(4) オーストラリア(1) ベトナム(4)、タイ(2)	運動会	みんなで担当を割り当て、運動会をする	1	村上洋子
18	11月11日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	12	ブラジル(2)、中国(3) ベトナム(5)、タイ(2)	ゴミ問題	ゴミの分別の仕方を学ぶ	1	村上洋子
19	11月18日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	10	ブラジル(2)、中国(1) ベトナム(3)、タイ(3) オーストラリア(1)	ゴミ問題	小松市環境美化センターの仕組み、母国との違い	1	村上洋子
20	11月25日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	12	ブラジル(2)、中国(1) ベトナム(5)、タイ(3) オーストラリア(1)	ゴミ問題	実際ゴミを分類してみよう。他のクラスの人ゴミの分類の仕方を教えよう	1	村上洋子
21	12月2日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	10	ブラジル(2)、中国(1) ベトナム(4)、タイ(2) オーストラリア(1)	ゴミ処理場見学	小松市環境美化センター見学	1	村上洋子
22	12月9日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	12	ブラジル(2)、中国(1) ベトナム(5)、タイ(3) オーストラリア(1)	クリスマス会に参加しよう	小松市国際交流協会のクリスマス会で劇や歌を発表するための準備。かぐや姫のセリフを考えよう	1	村上洋子
23	12月16日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	12	ブラジル(7)、中国(2) オーストラリア(1)、タイ(1) 韓国(1)	クリスマス会に参加しよう	劇(かぐや姫)の練習をしよう	1	村上洋子
24	12月23日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	10	ブラジル(5)、中国(2) オーストラリア(1)、タイ(1) 韓国(1)	クリスマス会	かぐや姫や歌の発表	1	村上洋子
25	H25年1月6日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	10	ブラジル(5)、中国(2) オーストラリア(1)、タイ(1) 韓国(1)	スピーチをしよう	スピーチコンテストに出るためにスピーチを書く	1	村上洋子
26	1月13日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	11	ブラジル(5)、中国(2) オーストラリア(1)、タイ(2) 韓国(1)	スピーチをしよう	スピーチコンテストに出るためにスピーチをする練習	1	村上洋子

27	平成25年1月20日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	11	ブラジル(4)、中国(2) 韓国(1)、タイ(2) ベトナム(2)	スピーチコンテスト	スピーチコンテストに参画する	1	村上洋子
28	1月27日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	10	ブラジル(4)、中国(2) 韓国(1)、タイ(2) ベトナム(1)	スピーチコンテスト	振返をする	1	村上洋子
29	2月3日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	12	ブラジル(5)、中国(2) 韓国(1)、タイ(1) ベトナム(2)、アメリカ(1)	因素マップを作る	自分たちの病院で行った経験話。困ったことや友達に教えた情報などをまとめる	1	村上洋子
30	2月10日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	11	ブラジル(5)、中国(1) 韓国(1)、タイ(1) ベトナム(2)、アメリカ(1)	因素マップを作る	ホームページから病院の診療時間や情報誌を取り上げる	1	村上洋子
31	2月17日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	11	ブラジル(5)、中国(1) 韓国(1)、タイ(1) ベトナム(2)、アメリカ(1)	因素マップを作る	身近な病院の情報共有して、マップの作り方を覚える	1	村上洋子
32	2月24日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	12	ブラジル(5)、中国(1) 韓国(1)、タイ(2) ベトナム(2)、アメリカ(1)	因素マップを作る	情報を母語に訳して、マップを完成させる	1	村上洋子

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)

10回目のクラス活動時、消防署へ行き実際に消防署の人と119番の電話対応の練習を行い、救急車に乗る体験を行った。消防署で準備してあった母国語での症状の説明を(英・中・韓・ベトナム・ポルトガル語など)指で示す練習も行った。

消火訓練もモニター画面を使って行った。

20回目のクラス活動ではそれぞれが家から持ち寄ったゴミを小松市の分類の仕方に従って実際に分別する練習を行った。その後レベル B・C(中級・初級)のクラスの人たちに分別の仕方を説明した。



(授業風景)



(消防署見学)

(10) 目標の達成状況・成果

2ヶ月毎にアンケートを実施し学習者の感想を聞いた。感想は概ね問題や不満のないものだったが日本語能力試験の勉強もしたい、という意見もあった。

(11) 改善点について

学習者のほとんどが就労目的での来日で過酷な就労生活のため、学習を長期継続することが難しく、モチベーションを維持させるため講師の側も有効な働きかけが必要である。

(1)―② 講座名称 **B クラス(中級)**

(2) 目的・目標

「生活者としての外国人」が日本語を用いて社会参加できるようコミュニケーション能力の向上を図り、地域の人とつながり交流できるような日本語教室の設置・運営。

(3) 対象者

地域在住外国人

(4) 開催時間数(回数) 64 時間 (全 32 回)

(5) 使用した教材・リソース

みんなの日本語初級Ⅱと自作教材

(6) 受講者の総数 27 人

(出身・国籍別内訳 ブラジル2名、中国3名、ベトナム11名、アメリカ1名、タイ5名、韓国1名、インドネシア1名、オーストラリア1名、デンマーク1名、フィリピン1名)

(7) 受講者の募集方法

・チラシを作成し実習生・研修生がいる企業、在住外国人が経営するレストランや教会等に配布。

・Facebook

・在住外国人による口コミ。

(8) 日本語教室の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍人数	取組のテーマ	授業概要	講師 (指導者数)	講師名
1	7月1日 9:30～11:30	2時間	こまつまち交流センター	16	ブラジル(2)、ベトナム(8) タイ(3)、アメリカ(1) オーストラリア(1)、韓国(1)	自己紹介	自己紹介ができる。自分のできることを可能を使って言うことができる。	1	北川雅恵
2	7月8日 9:30～11:30	2時間	こまつまち交流センター	14	ブラジル(2)、ベトナム(6) タイ(3)、アメリカ(1) オーストラリア(1)、韓国(1)	地域の行事に参加する	町内会の仕組みを知り、地域の行事を知る	1	北川雅恵
3	7月15日 9:30～11:30	2時間	こまつまち交流センター	13	ブラジル(2)、ベトナム(6) タイ(2)、アメリカ(1) オーストラリア(1)、韓国(1)	地域の行事に参加する	地域の行事に実際に参加する。	1	北川雅恵
4	7月22日 9:30～11:30	2時間	こまつまち交流センター	15	ブラジル(2)、ベトナム(8) タイ(3)、オーストラリア(1) 韓国(1)	目的地を獲る	電車、バスを使って目的地へ行くようにする	1	北川雅恵
5	7月29日 9:30～11:30	2時間	こまつまち交流センター	13	ブラジル(2)、ベトナム(7) タイ(1)、アメリカ(1) オーストラリア(1)、韓国(1)	目的地を獲る	タクシーを利用する	1	北川雅恵
6	8月5日 9:30～11:30	2時間	こまつまち交流センター	11	ベトナム(8) タイ(2)、アメリカ(1)	目的地を獲る	歩いて、目的地へ行く。道案内がわかるようになる	1	北川雅恵
7	8月19日 9:30～11:30	2時間	こまつまち交流センター	13	ブラジル(2)、ベトナム(7) タイ(1)、オーストラリア(1) 韓国(1)、デンマーク(1)	事故に備え、対応する	道路標識 交通ルールを知る	1	北川雅恵
8	8月26日 9:30～11:30	2時間	こまつまち交流センター	12	ブラジル(2)、ベトナム(4) タイ(3)、デンマーク(1) オーストラリア(1)、韓国(1)	警察の人の話聞く	自車の正しい乗り方、運転の仕方を知り理解する	1	北川雅恵
9	9月2日 9:30～11:30	2時間	こまつまち交流センター	12	ブラジル(1)、ベトナム(3) タイ(2)、アメリカ(1) オーストラリア(1)、韓国(1) デンマーク(1)、中国(2)	救急車をよびお	事故があったとき、病気の時、救急車で電話することができる	1	北川雅恵
10	9月9日 9:30～11:30	2時間	こまつまち交流センター	13	ベトナム(3)、デンマーク(1) タイ(4)、アメリカ(1) オーストラリア(1)、韓国(1) 中国(2)	消防署を見学しよう	消防署の見学、火事、地震のときの対処法	1	北川雅恵
11	9月23日 9:30～11:30	2時間	こまつまち交流センター	11	ブラジル(2)、ベトナム(3) タイ(2)、アメリカ(1) デンマーク(1)、中国(2)	買い物しよう	スーパー、コンビニ、電気店などで買い物をする	1	北川雅恵
12	9月30日 9:30～11:30	2時間	こまつまち交流センター	16	ブラジル(2)、ベトナム(6) タイ(2)、アメリカ(1) オーストラリア(1)、韓国(1) デンマーク(1)、中国(2)	余暇を楽しむ	みんなでバーベキューをする	1	北川雅恵
13	10月7日 9:30～11:30	2時間	こまつまち交流センター	12	ブラジル(2)、ベトナム(3) タイ(2)、オーストラリア(1) デンマーク(1)、中国(2) フィリピン(1)	郵便 宅配便を利用する	郵便局へ行って荷物を送ることができる。宅配便の用紙の書き方を学ぶ	1	北川雅恵

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者数	講師又は指導者名
14	10月14日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	10	韓国(1)、オーストラリア(1) タイ(1)、デンマーク(1) 中国(3)、フィリピン(1)	住居を確保する	住居について希望や条件を伝えることができる。不動産屋の情報を読んで理解できる	1	北川雅恵
15	10月21日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	11	韓国(1)、オーストラリア(1) タイ(1)、デンマーク(1) 中国(3)、フィリピン(1)	引越しに伴う手続きを理解する	引越し業者に引越しを依頼する。電話で、ガス、デンキ、水道をえるように依頼する	1	北川雅恵
16	10月28日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	13	韓国(1)、オーストラリア(1) タイ(1)、デンマーク(1) 中国(3)、フィリピン(1) ベトナム(2)、アメリカ(1)	金融機関を利用する	口座開設の意志を伝える。必要事項を記入することができる。	1	北川雅恵
17	11月4日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	10	オーストラリア(1) タイ(1)、デンマーク(1) 中国(1)、フィリピン(1)	運動会	色々な国の人と交流しルールを守って楽しむ	1	北川雅恵
18	11月11日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	10	オーストラリア(1) タイ(1)、デンマーク(1) 中国(3)、フィリピン(1)	住民としての手続きをする	市役所での手続きの仕方を知る。税金の支払い方や確定申告の必要性を確認する	1	北川雅恵
19	11月18日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	11	オーストラリア(1)、韓国(1) タイ(2)、デンマーク(1) 中国(2)、フィリピン(1)	コンビニのサービスを知る	ATMの使い方、公共料金の支払い方、レシートの読み方を理解する	1	北川雅恵
20	11月25日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	12	オーストラリア(1)、韓国(1) タイ(2)、デンマーク(1) 中国(2)、ベトナム(2)	ゴミ問題	小松市のゴミの分別の仕方を知る	1	北川雅恵
21	12月2日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	11	オーストラリア(1)、韓国(1) タイ(2)、デンマーク(1) ベトナム(2)、フィリピン(1)	ゴミ処理場見学	小松市美化センターの見学	1	北川雅恵
22	12月9日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	13	オーストラリア(1)、韓国(1) タイ(3)、デンマーク(1) ベトナム(5)、フィリピン(1)	ハガキを書こう	クリスマスカードや年賀状の書き方を知る	1	北川雅恵
23	12月16日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	12	オーストラリア(1) タイ(3)、デンマーク(1) ベトナム(5)、フィリピン(1)	クリスマス会に参加しよう	クリスマス会で歌う歌を決めて練習する	1	北川雅恵
24	12月23日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	14	オーストラリア(1) タイ(3)、デンマーク(1) ベトナム(6)、フィリピン(1)	クリスマス会	クリスマス会で歌の発表をする	1	北川雅恵
25	平成25年1月6日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	10	オーストラリア(1)、タイ(3) ベトナム(4)、ブラジル(2)	買い物しよう	店内の表示を見たり、店員に尋ねたりして自分のほしいものを買う	1	北川雅恵
26	1月13日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	12	タイ(2)、インドネシア(1) ベトナム(6)、ブラジル(2) アメリカ(1)	レストランで食事しよう	電話で予約する。メニューを見て注文できるようにする	1	北川雅恵

27	1月20日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	11	ブラジル(2)、アメリカ(1) タイ(2)、インドネシア(1) 韓国(1)、ベトナム(4)	電話のかた	色々な場面の電話のかた受け方を学ぶ	1	北川雅恵
28	1月27日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	13	ブラジル(2)、アメリカ(1) タイ(2)、インドネシア(1) 韓国(1)、ベトナム(6)	面接受かた	面接を受ける際の注意点を学ぶ	1	北川雅恵
29	2月3日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	13	ブラジル(2)、アメリカ(1) タイ(2)、インドネシア(1) 韓国(1)、ベトナム(6)	医療機関で治療を受ける	医者で治療を受けることができる	1	北川雅恵
30	2月10日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	12	ブラジル(2)、アメリカ(1) タイ(2)、インドネシア(1) 韓国(1)、ベトナム(5)	医療機関で治療を受ける	病への対処法生活の注意点を質問、答を理解する	1	北川雅恵
31	2月17日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	10	ブラジル(2)、アメリカ(1) タイ(2)、インドネシア(1) 韓国(1)、ベトナム(3)	薬を利用する	医者でも処方箋の内容を確認する	1	北川雅恵
32	2月24日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	10	ブラジル(2) タイ(2)、インドネシア(1) 韓国(1)、ベトナム(4)	医療マップを作る	アメリカの取組に参加して病状を説明する	1	北川雅恵

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)

10回目のクラス活動時、消防署へ行き実際に消防署の人と119番の電話対応の練習を行い、救急車に乗る体験を行った。消防署で準備してあった母国語での症状の説明を(英・中・韓・ベトナム・ポルトガル語など)指で示す練習も行った。

消火の訓練もモニター画面を使って行った。20回目のクラス活動では A クラス(上級)の学習者の指示に従ってゴミの分別の仕方を学んだ。



(授業風景)



(消防署見学 消火器体験)

(10) 目標の達成状況・成果

2ヶ月毎にアンケートを実施し学習者の感想を聞いた。感想は概ね良いものだったが日本語能力試験の勉強もしたい、という意見もあった。

(11) 改善点について

学習者のほとんどが就労目的での来日で過酷な就労生活のため、学習を長期継続することが難しく、モチベーションを維持させるため講師の側も有効な働きかけが必要である。

(1)―③ 講座名 **C クラス(初級)**

(2) 目的・目標

「生活者としての外国人」が日本語を用いて社会参加できるようコミュニケーション能力の向上を図り、地域の人とつながり交流できるような日本語教室の設置・運営。

(3) 対象者

地域在住外国人

(4) 開催時間数(回数) 64 時間 (全 32 回)

(5) 使用した教材・リソース

みんなの日本語 初級 I、自作教材

(6) 受講者の総数 21 人

(出身・国籍別内訳 ブラジル 6 名、中国 5 名、ベトナム 3 名、アメリカ 4 名、

マレーシア1名、ペルー1名、フィリピン1名)

(7) 受講者の募集方法

・チラシを作成し実習生・研修生がいる企業、在住外国人が経営するレストランや教会等に配布。

・Facebook

・在住外国人による口コミ。

(8) 日本語教室の具体的内容

回数	開催日時	時間数	場所	参加人数	国籍人数	取組のテーマ	授業概要	講師 又は指導 者数	講師又は指導者名
1	7月1日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	15	ブラジル(6)、中国(3) アメリカ(2)、フィリピン(1) ペルー(1)、ベトナム(2)	あいさつ	あいさつの種類と目的を理解する	1	クラジ徳子
2	7月8日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	12	ブラジル(5)、中国(3) アメリカ(1)、フィリピン(1) ペルー(1)、ベトナム(1)	自己紹介	簡単な自己紹介ができる。	1	クラジ徳子
3	7月15日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	13	ブラジル(5)、中国(3) アメリカ(2)、フィリピン(1) ペルー(1)、ベトナム(1)	地域の行事に参加する	地域の行事に実際に参加する	1	クラジ徳子
4	7月22日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	13	ブラジル(6)、中国(2) アメリカ(2)、フィリピン(1) ペルー(1)、ベトナム(1)	時間を知る	時間を言える。時間を問う	1	クラジ徳子
5	7月29日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	11	ブラジル(5)、中国(2) アメリカ(2)、フィリピン(1) ペルー(1)	目的地を獲得する	往來通訳を使うようになる	1	クラジ徳子
6	8月5日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	10	ブラジル(5)、中国(1) アメリカ(2)、フィリピン(1) ペルー(1)	目的地を獲得する	行き先、場所を言えるようになる	1	クラジ徳子
7	8月19日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	12	ブラジル(4)、中国(4) アメリカ(2)、フィリピン(1) ペルー(1)	事故で備え、対応する	交通ルールを知る	1	クラジ徳子
8	8月26日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	10	ブラジル(3)、中国(3) アメリカ(2)、フィリピン(1) ペルー(1)	警察の人の話聞く	自車の正しい乗方、施設の仕方を理解する	1	クラジ徳子
9	9月2日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	13	ブラジル(5)、中国(3) アメリカ(3)、フィリピン(1) ペルー(1)	救急車をよびあ	事故があったとき、病気のとき、救急車に電話することができる	1	クラジ徳子
10	9月9日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	11	ブラジル(5)、中国(3) アメリカ(3)	消防署を見学しよう	消防署の見学、火事、地震のときの対処法	1	クラジ徳子
11	9月23日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	13	ブラジル(6)、中国(3) アメリカ(3)、フィリピン(1)	買い物しよう	スーパーで買い物をする	1	クラジ徳子
12	9月30日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	15	ブラジル(6)、中国(4) アメリカ(3)、フィリピン(1) ベトナム(1)	余暇を楽しむ	みんなでバーベキューをする	1	クラジ徳子
13	10月7日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	14	ブラジル(6)、中国(4) アメリカ(2)、フィリピン(1) ベトナム(1)	郵便局を利用する	郵便局へ行って荷物を送ることができる。	1	クラジ徳子

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者数	講師又は指導者名
14	10月14日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	13	ブラジル(4)、中国(3) アメリカ(2)、フィリピン(1) ペルー(1)、ベトナム(2)	住宅をさがす	住居について希望や条件を伝えることができる	1	グラッソ徳子
15	10月21日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	13	ブラジル(5)、中国(2) アメリカ(2)、フィリピン(1) ペルー(1)、ベトナム(2)	引越しする	部屋にあるものを言えるようになる	1	グラッソ徳子
16	10月28日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	12	ブラジル(6) アメリカ(2)、フィリピン(1) ペルー(1)、ベトナム(2)	物品を購入する	必要なものを売っている場所をさくことができる	1	グラッソ徳子
17	11月4日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	14	ブラジル(6)、中国(1) アメリカ(2)、フィリピン(1) ペルー(1)、ベトナム(3)	運動会	色々な国の人と交流しルールを守って楽しむ	1	グラッソ徳子
18	11月11日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	14	ブラジル(4)、中国(3) アメリカ(2)、フィリピン(1) ペルー(1)、ベトナム(3)	物品を購入する	店員に商品について尋ねることができる	1	グラッソ徳子
19	11月18日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	13	ブラジル(4)、中国(3) アメリカ(2)、フィリピン(1) ベトナム(3)	物品を購入する	商品の機能や値段を聞くことができる	1	グラッソ徳子
20	11月25日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	11	ブラジル(6)、中国(2) ベトナム(3)	ゴミ問題	小松市のゴミの分別の仕方を知る	1	グラッソ徳子
21	12月2日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	12	ブラジル(6)、中国(2) ベトナム(3)、ロシア(1)	ゴミ処理場見学	小松市美化センターの見学	1	グラッソ徳子
22	12月9日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	10	ブラジル(4)、中国(2) ベトナム(3)、ロシア(1)	物品を購入する	必要なものを選んで購入する	1	グラッソ徳子
23	12月16日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	12	ブラジル(5)、中国(3) ベトナム(3)、ロシア(1)	クリスマス会に参加しよう	クリスマス会で歌う歌を決めて練習する	1	グラッソ徳子
24	12月23日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	13	ブラジル(6)、中国(3) ベトナム(3)、ロシア(1)	クリスマス会	クリスマス会で歌の発表をする	1	グラッソ徳子
25	平成25年1月6日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	10	ブラジル(6)、中国(2) ベトナム(1)、ロシア(1)	レストランを探す	希望の食べ物のある店を探す	1	グラッソ徳子
26	1月13日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	11	ブラジル(6)、中国(2) ベトナム(2)、ロシア(1)	レストランで食事しよう	メニューを見て注文できるようにする	1	グラッソ徳子

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍人数	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者数	講師又は指導者名
27	1月20日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	12	ブラジル(6)、中国(3) ベトナム(2)、ロシア(1)	プレゼントをする	友達にプレゼントをあげるための言葉や方法を学ぶ	1	グラッソ徳子
28	1月27日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	12	ブラジル(6)、中国(3) ベトナム(2)、ロシア(1)	自分の意見を言う	自分の考えや意見を伝えるようになる	1	グラッソ徳子
29	2月3日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	13	ブラジル(6)、中国(3) ベトナム(2)、ロシア(1) アメリカ(1)	医療機関で治療を受ける	医者で治療を受けることができる	1	グラッソ徳子
30	2月10日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	11	ブラジル(6)、中国(1) ベトナム(2)、ロシア(1) アメリカ(1)	医療機関で治療を受ける	問診票の書き方を学ぶ	1	グラッソ徳子
31	2月17日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	11	ブラジル(5)、中国(2) ベトナム(2)、ロシア(1) アメリカ(1)	薬を利用する	医者でも処方箋の内容がわかるようになる	1	グラッソ徳子
32	2月24日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	11	ブラジル(5)、中国(2) ベトナム(2)、ロシア(1) アメリカ(1)	医療機関で治療を受ける	メカスの取組に参加して、母語で病状の経過を伝える	1	グラッソ徳子

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)

10回目のクラス活動時、消防署へ行き実際に消防署の人と119番の電話対応の練習を行い、救急車に乗る体験を行った。消防署で準備してあった母国語での症状の説明を(英・中・韓・ベトナム・ポルトガル語など)指で示す練習も行った。

消火の訓練もモニター画面を使って行った。

20回目のクラス活動では A クラス(上級)の学習者の指示に従ってゴミの分別の仕方を学んだ。



(環境美化センター見学)



(授業風景)

(10) 目標の達成状況・成果

2ヶ月毎にアンケートを実施し学習者の感想を聞いた。感想は概ね良いものだったが日本語能力試験の勉強もしたい、という意見もあった。

(11) 改善点について

基本的な文法項目を定着させ会話がスムーズにできるようにする。文字が読めないと学習を継続できなくなる傾向がある為、文字指導も併せて行う。

6. 日本語教育を行う人材の養成・研修の実施

(1) 講座名称 「日本語講師養成講座」

(2) 目的・目標

新規日本語講師及び日本語サポーターの養成。

(3) 対象者

日本語教育に興味のある方なら誰でも。

(4) 開催時間数(回数) 45 時間 (全 15 回)

(5) 使用した教材・リソース

オリジナル教材、「生活者としての外国人に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案について」、「同 教材例集」、「にほんご宝船」、「多言語やりとり素材集」

(6) 受講者の総数 10 人

(出身・国籍別内訳 日本 9人、中国 1人)

(7) 受講者の募集方法

- ・チラシを作成し当協会会員へ発送
- ・小松市広報へ掲載
- ・ホームページ
- ・Facebook

(8) 養成・研修の具体的内容

回(※)	開催日	時間数	受講人数	内 容
①	7月10日(火)	3 時間	11 人	地域日本語教室の役割
②	7月17日(火)	3 時間	12 人	学習者のなにを知るべきか
③	7月24日(火)	3 時間	10 人	自分を振り返る、外国語としての日本語1
④	7月31日(火)	3 時間	10 人	外国語としての日本語2
⑤	8月3日(金)	3 時間	6 人	外国語としての日本語3、発音と文字
⑥	8月7日(火)	3 時間	10 人	日本語の教材、教室でなにを教えるか
⑦	8月21日(火)	3 時間	8 人	教室活動のいろいろ
⑧	8月24日(金)	3 時間	8 人	日本語のコースの組み立て
⑨	8月28日(火)	3 時間	11 人	1日の授業の組み立て
⑩	8月31日(金)	3 時間	7 人	授業①準備
⑪	9月4日(火)	3 時間	11 人	授業①、IFIE講師主導の授業体験
⑫	9月7日(金)	3 時間	10 人	授業②準備
⑬	9月11日(火)	3 時間	10 人	授業②準備
⑭	9月14日(金)	3 時間	10 人	授業③準備
⑮	9月18日(火)	3 時間	10 人	授業③、ふりかえり

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)

第2回 7月13日(土)

テーマ1:やさしい日本語

- ① 弘前大学人文学部社会言語学研究室 HP を参考として、災害時のお知らせのやさしい日本語への書きなおし例を検討する。
- ② やさしい日本語に直す際のポイントを確認。
- ③ 漢語を和語に直す、文を短くする、余分な要素を削るなどのドリル。
- ④ 話しことばでやさしい日本語を使う際のポイント。
- ⑤ 町内会の旅行案内をやさしい日本語で書き換え、説明してみる。

テーマ2:学習者との最初の出会い

- ① 最初の出会いのインタビュー体験。
- ② インタビューの際に気をつける点(傾聴、共感、繰り返す等)
- ③ 知っておくべきニーズやレディネスの確認。
- ④ 最初の出会いの練習。

第3回 7月24日(火)

テーマ1:外国語学習体験

- ① ポルトガル語の学習体験を受講者にしてもらう。
- ② 言語学習観の違いを受講者間で話し合い、確認する。

テーマ2:外国語としての文法1

- ① 品詞の分け方、動詞の活用など基本的な文法について、その法則を皆で考えてみる。
- ② ～ている、受身など代表的な文法項目を教えるポイントを学ぶ。



(10) 目標の達成状況・成果

今講座終了後にはなるべく多くの受講者に「日本語講師」として活躍してもらいたいという目標があったが、実際は10名の受講者のうち3名しかいないという結果になった。日本語講師になることを断念した受講者に理由を尋ねてみると「日本語講師は大変そう」や「時間的に余裕がない」などが聞かれた。

講座内容については概ね問題はなく、受講者は日本語を外国語として教えることの難しさを実感したようである。

(11) 改善点について

講座を平日の午後、週1～2回の開催にしたが、受講できるのは仕事を持たない主婦の方がほとんどで、講座を終了しても日本語講師として継続することが難しい場合が多く、人材確保の難しさを実感した。講座の開催日時については、講師の都合などもあり改善は難しいかもしれないが、今後もう一度検討していきたい。

講座の内容については、今後も講師と講座主催者側とよく話し合い、講座を継続していき人材の確保に努めていきたい。

(1) 講座名称 **「日本語講師養成講座 ～実践編～」**

(2) 目的・目標

新規日本語講師及び日本語サポーターの養成。

(3) 対象者

日本語教育に興味のある方なら誰でも。

(4) 開催時間数(回数) 48 時間 (全 12 回)

(5) 使用した教材・リソース

みんなの日本語 初級 I 本冊

(6) 受講者の総数 10 人

(出身・国籍別内訳 日本 10人)

(7) 受講者の募集方法

・「日本語講師養成講座」受講者へ継続受講案内

・小松市広報へ掲載

・ホームページ

・Facebook

(8) 養成・研修の具体的内容

回(※)	開催日	時間数	受講人数	会 場	内 容
実①	10月10日(水)	4 時間	8 人	こまつまちづくり交流センター	文字指導
実②	10月17日(水)	4 時間	7 人	こまつまちづくり交流センター	初級みんなの日本語1～L4 助詞
実③	10月24日(水)	4 時間	7 人	こまつまちづくり交流センター	初級みんなの日本語5～L7 発音
実④	10月31日(水)	4 時間	9 人	こまつまちづくり交流センター	初級みんなの日本語8～L12 形容詞
実⑤	11月7日(水)	4 時間	8 人	こまつまちづくり交流センター	初級みんなの日本語13～L16 動詞(1)
実⑥	11月14日(水)	4 時間	8 人	こまつまちづくり交流センター	初級みんなの日本語17～L20 動詞(2)
実⑦	11月21日(水)	4 時間	10 人	こまつまちづくり交流センター	初級みんなの日本語21～L25 動詞(3)
実⑧	11月28日(水)	4 時間	9 人	こまつまちづくり交流センター	教案の書き方
実⑨	12月5日(水)	4 時間	10 人	こまつまちづくり交流センター	教室活動における副教材、教材作成
実⑩	12月12日(水)	4 時間	9 人	こまつまちづくり交流センター	模擬授業の準備
実⑪	12月19日(水)	4 時間	10 人	こまつまちづくり交流センター	模擬授業1
実⑫	12月26日(水)	4 時間	10 人	こまつまちづくり交流センター	模擬授業2

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)

10月10日(水)文字指導

①在住外国人のためにいったいどのような文字が必要かを考えてみる。

②働いている人、主婦層とおおまかに2つのグループに分け考え、確認する。

③市役所や職場、学校や幼稚園などで実際に記入しなければならない事項を確認。

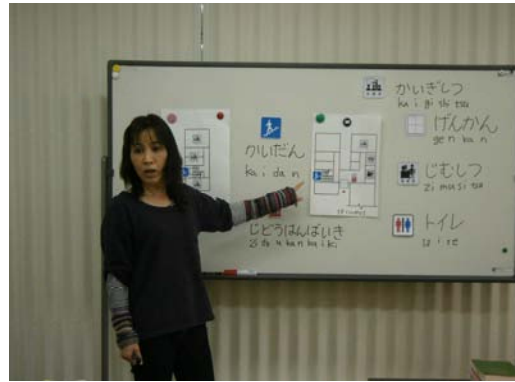
- ④単に文字を教えるのではなく、必要な文字習得のポイント確認。
- ⑤実際にどのように教えればよいのかをみんなで考える。
- ⑥漢字指導で多国籍の学習者が混在した場合、非漢字圏、漢字圏学習者が混在した場合どうすればよいかを考える。

12月5日(水)教室活動における副教材、教材作成

- ①在住外国人が生活して実際に目にするであろうチラシやお知らせなどを使いなが分かりにくいを検証する。
- ②実際に外国人にわかりやすく説明するにはどうすればよいかを考える。
- ③授業でそれをどう活用できるかを考える。
- ④書き言葉と話し言葉について考える。
- ⑤文型や語彙を調べる。
- ⑥文法項目を考え、実際に教えるにはどうすればよいかを学ぶ。



(模擬授業の風景)



(模擬授業の風景)

(10) 目標の達成状況・成果

マンツーマン形式のプライベート授業ではなくクラス授業の模擬授業で実際に学習者を前にして授業をする。模擬授業後みんなでフィードバックをし、検証する。実際に教え体感することにより、なお何をしなければならないか、何が学習者にとって必要なのかを感じ考えることができた。

(11) 改善点について

講義クラスだけではなく実際に教えてみると見えてくることもあり、模擬授業がもっと行えればよかった。

これだけでは不十分なのでもっと長く継続して研修できるという体制が必要。

- (1) 講座名称 **「スキルアップ講座」**
- (2) 目的・目標
大きな教室活動(グループレッスン)に対応できる講師の養成。
- (3) 対象者
既存日本語講師
- (4) 開催時間数(回数) 64 時間 (全 32 回)
- (5) 使用した教材・リソース
・「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案
・みんなの日本語 初級Ⅰ 本冊
・みんなの日本語 初級Ⅱ 本冊
・自作教材
- (6) 受講者の総数 5 人
(出身・国籍別内訳 日本 5人)
- (7) 受講者の募集方法
・既存の日本語講師のため口頭での案内のみ
- (8) 養成・研修の具体的内容
講義補助者として教室運営・活動に携わり実習を行う。

回(※)	開催日	時間数	受講人数	会 場	内 容
1	7月1日(日)	2 時間	3 人	こまつまちづくり交流センター	自己紹介(上・中級)、あいさつ(初級)
2	7月8日(日)	2 時間	3 人	こまつまちづくり交流センター	地域行事に参加する(上・中級) 自己紹介(初級)
3	7月15日(日)	2 時間	3 人	こまつまちづくり交流センター	地域行事に参加する(上・中・初級)
4	7月22日(日)	2 時間	3 人	こまつまちづくり交流センター	乗り物(上級)、目的地に移動(中級) 時間(初級)
5	7月29日(日)	2 時間	3 人	こまつまちづくり交流センター	乗り物(上級)、目的地に移動(中・初級)
6	8月5日(日)	2 時間	3 人	こまつまちづくり交流センター	乗り物(上級)、目的地に移動(中・初級)
7	8月19日(日)	2 時間	3 人	こまつまちづくり交流センター	乗り物に乗って(上級) 事故に備える(中・初級)
8	8月26日(日)	2 時間	3 人	こまつまちづくり交流センター	薬の種類(上級)、警察の人の話を聞く(中・初級)
9	9月2日(日)	2 時間	2 人	こまつまちづくり交流センター	救急車を呼ぶ(上・中・初級)
10	9月9日(日)	2 時間	3 人	こまつまちづくり交流センター	消防署の見学(上・中・初級)
11	9月23日(日)	2 時間	3 人	こまつまちづくり交流センター	バーベキュー計画(上級)、買い物(中・初級)
12	9月30日(日)	2 時間	2 人	こまつまちづくり交流センター	バーベキュー計画(上級)、余暇(中・初級)
13	10月7日(日)	2 時間	3 人	こまつまちづくり交流センター	バーベキュー計画(上級) 郵便・宅急便利用(中級)、郵便局(初級)
14	10月14日(日)	2 時間	3 人	こまつまちづくり交流センター	運動会の企画・運営(上級)、住居の確保(中級) 住宅を探す(初級)
15	10月21日(日)	2 時間	2 人	こまつまちづくり交流センター	運動会の企画・運営(上級)、引越し(中・初級)
16	10月28日(日)	2 時間	3 人	こまつまちづくり交流センター	運動会の企画・運営(上級) 金融機関利用(中級)、買い物(初級)
17	11月4日(日)	2 時間	3 人	こまつまちづくり交流センター	運動会(上・中・初級)
18	11月11日(日)	2 時間	2 人	こまつまちづくり交流センター	ゴミ問題(上級)、市役所・税金手続き(中級) 買い物(初級)
19	11月18日(日)	2 時間	3 人	こまつまちづくり交流センター	ゴミ問題(上級)、コンビニサービス(中級)、買い物(初級)
20	11月25日(日)	2 時間	3 人	こまつまちづくり交流センター	ゴミ問題(上・中・初級)
21	12月2日(日)	2 時間	3 人	こまつまちづくり交流センター	ゴミ処理場見学(上・中・初級)
22	12月9日(日)	2 時間	3 人	こまつまちづくり交流センター	クリスマス会(上級) ハガキを書く(中級)、買い物(初級)
23	12月16日(日)	2 時間	2 人	こまつまちづくり交流センター	クリスマス会に参加しよう(上・中・初級)
24	12月23日(日)	2 時間	3 人	こまつまちづくり交流センター	クリスマス会(上・中・初級)
25	1月6日(日)	2 時間	3 人	こまつまちづくり交流センター	スピーチ(上級)、買い物(中級) レストランを探す(初級)
26	1月13日(日)	2 時間	3 人	こまつまちづくり交流センター	スピーチ(上級)、レストランで食事(中・初級)
27	1月20日(日)	2 時間	2 人	こまつまちづくり交流センター	スピーチコンテスト(上級)、電話のかけ方(中級) プレゼントをする(初級)
28	1月27日(日)	2 時間	2 人	こまつまちづくり交流センター	スピーチコンテスト(上級)、面接の受け方(中級) 自分の意見を言う(初級)
29	2月3日(日)	2 時間	3 人	こまつまちづくり交流センター	医療マップ作成(上級) 医療機関受診(中・初級)
30	2月10日(日)	2 時間	3 人	こまつまちづくり交流センター	医療マップ作成(上級) 医療機関受診(中・初級)
31	2月17日(日)	2 時間	2 人	こまつまちづくり交流センター	医療マップ作成(上級)、薬を利用(中・初級)
32	2月24日(日)	2 時間	1 人	こまつまちづくり交流センター	医療マップ作成(上・中・初級)

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)

毎回必ず担当講師が、受講者が作成した教案・教材の内容をチェックし、修正等指導を行い教室に臨んだ。教室後も必ず振返りを行い、より良い教室活動になるよう努めた。



(10) 目標の達成状況・成果

マンツーマン形式のプライベート授業のみ経験(3年以上)のある既存講師が大きなクラス(グループレッスン)で学習者の数やニーズに対応できるよう実際のクラスで実習を行った。回数を重ねるごとに改善は見られるが、1つのクラスでもレベルの違う学習者への対応や知識・経験不足などまだ課題が残る。

(11) 改善点について

一定の時間数のみの実習だけでは不十分なので継続してスキルアップを図っていく必要がある。

7. 日本語教育のための学習教材の作成

- | | |
|-------------|---|
| (1) 教材名称 | 「kabuki」 |
| (2) 対象 | 日本語上級者 |
| (3) 目的・目標 | 「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案に従い、実際の生活に役立つ情報を提供する。 |
| (4) 構成 | 全10章 |
| (5) 使い方 | 教案に基づき教室活動を行う。 |
| (6) 具体的な活用例 | 教案に基づき教室活動を進め、適宜絵カードや語彙リスト等も用いる。また、地域行事やイベント等へは実際に参加し交流を図る。 |
| (7) 成果物の添付 | https://sites.google.com/site/komatsunihongo/ |

8. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的

平成24年4月現在小松市に在住する外国人1557名のうち約60%が日系ブラジル人とその家族であり、アジア圏からの実習生・研修生を含めると約80%が就労目的の外国人で

ある。景気低迷が続く中、小松市も含め石川県内でも外人登録者数は2009年から3年連続減少しているものの、永住者は増えている傾向にある。定住・永住外国人においては安定した生活のため、日本語習得の重要性を認識し、就労の安定、地域交流、社会貢献を求めるようになってきている。よって当協会の日本語教室においても過酷な就労生活のなかで学習する外国人のために生活に密着した、より実践的な教室設置・運営が必要であり、その為の既存講師のスキルアップ、また新規の日本語講師及び日本語サポーターの養成が急務である。

(2) 目標の達成状況・事業の成果

「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案を基に、教案や教材を作成し教室活動を行って実際に地域の行事やイベントに積極的に参加するよう心掛けた。学習者が地域の住民に自国の遊びやゴミ出しのルールなどを説明する機会を設け、日本語講師だけではなく地域住民とも交流を図ることができた。また日本人側にとっても地域に在住している外国人を知る良い機会になったようである。今後もこのような日本語教育を進め、多文化共生社会の推進にも努めていきたい。

(3) 標準的なカリキュラム案の地域での活用について

地域や学習者のレベルやニーズにあわせて適宜修正を加え、工夫して使用すると更に成果が期待できると感じた。

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果 等

消防署、警察署、環境美化センター、教育委員会並びに地域行事への参加など地域との連携に努めた。地域行事へ実際に参加し、地域の住民と交流を図ることにより顔の見える関係を作ることができた。

また、警察・環境美化センターではそれぞれ日本の交通ルールやゴミの現状、ゴミ出しのルールなどを学ぶことができ、消防署では消火体験や煙体験、応急処置の仕方を学び、救急車内で症状などを伝えることができる「指差しシート」を5カ国語(英語・韓国語・ポルトガル語・スペイン語・中国語)で作成して頂いた。

教育委員会へは中学生が3名日本語教室を受講していたので成果を報告した。

(5) 改善点、今後の課題について

小松市在住の外国人の約80%が就労目的であり、日本語教室受講者のほとんどが就労者である。過酷な就労生活のため、日本語習得の重要性は認識しているものの、学習を長期継続することが難しいのが実情である。

そんな学習者のため学習のモチベーションを維持させるために教室活動の内容を工夫したり、イベントの企画や地域住民との交流を図る機会を設けるなどの講師側の働きかけが重要になっている。

また、人材の育成に関しては、定期的に養成講座などを開催し既存講師・新規講師共にスキルアップを図っていく必要がある。

【参考資料①】

⑥ どうしてですか。

H24 年 グループクラスアンケート集計表(9 月・10 月)

①クラスの時間はどうでしたか。

上段: 回答数 下段: %		クラスの時間はどうでしたか。					
		合計	長い	少し長い	ちょうど よい	少し 短い	短い
クラス	合計	38	0	7	23	5	3
			0%	18%	61%	13%	8%
	A クラス	13	0	2	8	3	0
			0%	15%	62%	23%	0%
	B クラス	13	0	3	9	1	0
			0%	23%	69%	8%	0%
	C クラス	12	0	2	6	1	3
			0%	17%	50%	8%	25%

②日本語の勉強はどうでしたか。

上段: 回答数 下段: %		日本語の勉強はどうでしたか。					
		合計	とても 良い	良い	まあまあ	少し 悪い	悪い
クラス	合計	38	16	16	6	0	0
			42%	42%	16%	0%	0%
	A クラス	13	5	6	2	0	0
			38%	46%	15%	0%	0%
	B クラス	13	3	8	2	0	0
			23%	62%	15%	0%	0%
	C クラス	12	8	2	2	0	0
			67%	17%	17%	0%	0%

③日本語の先生の話はわかりましたか。

上段: 回答数	日本語の先生の話はわかりましたか。
---------	-------------------

下段：％		合計	とても よく 分かった	分かった	まあまあ	少し 分かった	分から なかった
クラス	合計	38	10	20	7	1	0
			26%	53%	18%	3%	0%
	A クラス	13	4	8	1	0	0
			31%	62%	8%	0%	0%
	B クラス	13	3	6	3	1	0
			23%	46%	23%	8%	0%
	C クラス	12	3	6	3	0	0
			25%	50%	25%	0%	0%

【参考資料②】

小松市教育委員会	平成 25 年 2 月 27 日
----------	------------------

教育長 坂本 和哉殿

小松市国際交流協会
会長 綾 美寿恵

日本語教室出席報告

下記のとおり、小松市立の中学校に在籍している生徒に対して日本語教室を開催致しましたのでご参考のため報告致します。

記

- ・ 日時 平成 24 年 7 月～平成 25 年 2 月までの毎週日曜日
9 : 30～11 : 30
- ・ 場所 こまつまちづくり交流センター
- ・ 出席者 ブラジル国籍男子生徒（15 歳）
ブラジル国籍女子生徒（15 歳）
ブラジル国籍女子生徒（14 歳）
- ・ 目的 日本語で意思疎通を図り日常生活、学校生活ができるようになるため
- ・ 内容 漢字指導
日本語初級クラス
日本語検定試験 N1 のための勉強
- ・ 成果 個人差があるが小学校低学年～高学年の漢字を習得。
取り出していたクラスも少なくなり、教室へ戻り授業を受けられる回数も増えた。日本語に自信が持てるようになったのか、日本人の友達ができ、以前より笑顔も増えイキイキとした表情で学校へ登校するようになった。
検定試験のための勉強も大人と一緒に頑張って一生懸命勉強に励んでいた。

以上